

地球のワクワク！発見しよう
こどもエコクラブ
私が主役！なかまと一緒に未来をつくる

2021 年度 事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会
こどもエコクラブ全国事務局

〈後援：環境省〉

はじめに

新型コロナウイルス感染症が世界的に広まり始めてから丸2年が経過しました。マスクの着用や手指の消毒、オンラインでの授業や会合など、既に「新しい日常」として私たちの生活に定着しつつあります。こどもエコクラブの活動レポートでも、子どもたちのマスク姿やオンラインイベント・講座などの様子が多く見られます。一方で、感染対策やワクチン接種が進んだことにより、コロナ以前に大多数を占めていた屋外での自然観察や農林業体験活動などがまた少しずつ増えてきているのは明るい兆しといえるでしょう。

先日「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」が公開した報告書によると、今すぐ対策を強化しなければ、平均気温上昇を1.5°Cに抑えるという世界的な目標達成は極めて難しいとされており、脱炭素に向けた具体的な行動はもはや待ったなしの状況です。日本でも、昨年6月に政府が「地域脱炭素ロードマップ」を公表し、2030年度までに少なくとも全国に100カ所の「脱炭素先行地域」をつくるという目標を示しました。また、これまでに120を超える自治体が「SDGs 未来都市」に選定されるなど、「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向けた地域の動きも加速しています。住民自身が地域の課題に向き合い、脱炭素を目指しつつ暮らしの質の向上を図る取組が、これから各地で展開される見込みです。

こどもエコクラブは、子どもたちの主体的な環境学習・環境活動を四半世紀にわたり支援してきました。2021年度はコロナ禍が続く中、前年度を上回る1,705クラブが登録し、87,272人の子どもたちが全国各地で様々な環境活動に取り組みました。63の企業・民間団体が協賛、寄附およびプログラムの共同事業等でご支援くださったほか、535の地方自治体に地域事務局としてクラブの活動を支えていただきました。地域に根差したクラブの活動は、地域の人々や企業・団体、自治体を巻き込んだ脱炭素・SDGsの取組へとつながる出発点ともいえるのではないのでしょうか。

ユネスコ憲章の前文に「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という言葉があります。ロシアによるウクライナ侵攻が続いている今こそ、持続可能な社会を目指す強い意志と行動力という強固な「平和のとりで」をもった子どもたちを育て、その輪を更に大きく広げていかなければなりません。こどもエコクラブ全国事務局は、多様な組織や人の参画と協力のもと、全国のクラブの活動を支援するとともに事業を継続・発展させる取組を2022年度以降も推進してまいります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年4月 こどもエコクラブ全国事務局



目次

◎ はじめに	3
◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション	5
◎ 2021年度のハイライト	6
◎ 事業報告	10
○ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	10
(1) こどもエコクラブの認知度向上	
(2) こどもエコクラブへの登録促進	
○ 環境活動・学習の活性化促進	17
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	
(2) 教材・プログラムの提供	
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	
(4) 企業との協働推進	
(5) 他団体のイベント・キャンペーン情報の提供	
(6) All Japan Youth Eco-club	
○ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	24
(1) 地域活動活性化	
(2) 全国規模での交流と顕彰	
(3) 他団体からの表彰	
(4) こどもエコクラブ協働プログラム	
◎ 地域事務局の取組事例	29
◎ 協賛・協力いただいた企業・団体	34
◎ 登録データほか	35
◎ 全国エコ活コンクール 受賞作品	39

◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、幼児(3歳)から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

◎ ビジョン(=理想の未来)

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

◎ ミッション(=なすべきこと)

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、2021年度は、

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
- 環境学習・環境活動の活性化
- 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ

の3つの柱を掲げて様々な活動に取り組んできました。



2021 年度のハイライト



こくみん共済 coop との協働プログラム「おうちで Bosai × Eco CAMP」

こくみん共済 coop 〈全労済〉と協働し、防災・減災プログラム「おうちで Bosai × Eco CAMP」をこどもエコクラブ全国一斉活動として実施しました。

コロナ禍でもできるものとして、自宅で電気やガス、水道などのライフラインが使えない状況を想定したプログラムを企画しました。災害に対する日々の備えの大切さや命を守る行動について学ぶプログラムをまとめたワークブックを作成して、希望クラブに配布、ウェブサイト等を通じて参加を呼びかけました。

併せて本活動を通じて感じたこと・考えたこと等をまとめた絵日記を募集、有識者による審査会にて優秀賞を選出・顕彰して、防災の重要性や災害時における安全な対応等を全国に発信しました。



〈活動期間〉

2021 年 9 月 1 日(水)～2022 年 3 月 31 日(木)

〈防災絵日記 表彰式〉※全国エコ活コンクール表彰式内にて実施

2022 年 3 月 20 日(日)



優秀賞作品(一部抜粋)



表彰式の様子

また、従来からこどもエコクラブを支援くださっているプロントコーポレーションよりレジ前募金を活用した子どもたちへの支援要望を受け、当該寄附を本活動の参加賞の一つとして活用しました。2021 年夏の豪雨にて被災した地域のクラブで本活動に参加したメンバーを対象に、災害に役立つグッズを作成・配布し、こどもエコクラブ事業に賛同する複数の企業団体の連携活動にもつなげました。



参加賞の給水バッグが入るリュックを追加で作成・送付

◎ 子ども環境情報紙「エコチル」との連携



2021年6月より、こどもエコクラブの広報の一環として株式会社アドバコムが発行する「エコチル」の電子版(45府県版)と連携し、当該メディアに全国のこどもエコクラブの活動報告やイベント等の情報を月一回掲載して、子どもたちの熱心な活動や事業の意義を全国に広く発信しています。

記事タイトルを「こどもエコクラブの活動報告『みんなのSDGsアクション!』」とし、こどもエコクラブの活動が地域の環境保全だけでなくSDGsの達成にも貢献していることをアピールしています。それを通じて、SDGsの推進の一環として地域で活動する子どもたちへの支援や連携を検討している企業団体との協働につなげています。

このスクリーンショットは、「みんなのSDGsアクション! ~海岸の清掃活動~」という記事の抜粋です。記事は、三重県亀山市の「魚と子どもKidsクラブ」の活動リーダーの報告に基づいています。内容は、海岸清掃活動を通じて、海洋プラスチックごみの問題とSDGsの達成への貢献について語られています。記事の下部には「こどもエコクラブ」のロゴと「アドバコム」のロゴが記載されています。

このスクリーンショットは、「みんなのSDGsアクション! ~バイオマスエネルギーで地産地消クッキング~」という記事の抜粋です。記事は、埼玉県宮代町の「MIYASHIROエコ合スターズ」の活動報告に基づいています。内容は、地元産の食材を使用したクッキング活動を通じて、バイオマスエネルギーの活用と地産地消の推進について語られています。記事の下部には「こどもエコクラブ」のロゴと「アドバコム」のロゴが記載されています。

定期的な掲載を通じて連携が深まり、こどもエコクラブの主要な事業である「全国エコ活コンクール」の募集や「全国フェスティバル」の実施などの記事を適宜掲載いただくなど、双方の強みを生かしながらお互いの事業の拡大を図っています。

この広告は、「みんなのエコアクションを発信しよう!」というキャンペーンの告知です。内容は、全国の子どもたちのエコ活動を応援している「こどもエコクラブ」が、毎年「全国エコ活コンクール」を開催していること、エコチルを通じて活動を紹介できること、応募方法や締め切り（2022年1月14日）が記載されています。下部には「アドバコム」のロゴと「こどもエコクラブ」のロゴが記載されています。

【エコチル】

地球環境保全に積極的に取り組む子どもたちを育むとともに、学校や家庭でエコライフが推進されることを目的に、株式会社アドバコムが発行・無料配布している子ども向けの環境情報紙。

2021年現在、東京23区・神奈川県(横浜、平塚、大磯町)・北海道(札幌以外の178市町村)の公立小・中・高等学校に月刊799,450部発行している。2021年4月より、北海道、東京都を除く45府県を電子版にて発行、全国展開をスタート。

この広告は、「こどもエコクラブ 全国フェスティバル 2022 [オンライン]」の告知です。内容は、全国の子どもたちがオンラインで参加できるイベントであり、エコアクションの発表や表彰が行われること、参加方法や申し込み期間が記載されています。下部には「アドバコム」のロゴと「こどもエコクラブ」のロゴが記載されています。

◎ オンライン・デジタル技術等を活用したクラブの活動支援

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、オンラインやデジタルツールを効果的に使った活動やコミュニケーションが各地で実践されました。全国規模のクラブの活動発表・交流会や地域事務局担当者向けの説明会を初めてオンラインで開催するなど、全国事務局でも積極的に活用を進めています。

リアルな体験や対面でのコミュニケーションの大切さはいまでもありませんが、目的・状況に合わせてこれらのツールを上手に使いこなしていくことで、クラブの活動をより充実したものにしていけることができます。

1. 環境活動プログラムの提供

企業・団体との協働により、SNS やスマートフォンのアプリを活用した一斉活動プログラムを企画・実施しました。

(1) エコマーククエストⅡ



メルカリがサーキュラー・エコノミーを推進する団体を対象に行っている「メルカリ寄付」を活用し、日常生活や買い物の中で見つけた「エコマーク」のついた商品・サービスについて、環境配慮のポイントを学ぶ「エコマーククエストⅡ」を実施しました。見つけたエコマークを写真に撮って、Twitter や Facebook、ウェブサイトの専用フォームから投稿してもらった仕組みです。2021 年 12 月から 2022 年 2 月までの 3 ヶ月にわたって募集したほか、「エコプロ 2021」の会場でも来場者に参加していただきました。「品川区立山中小学校おやこエコクラブ」(東京都品川区)は、期間内に何と 354 個ものエコマークを見つけてくれました。



エコプロ会場ではオリジナルカードを配布



山中小学校が見つけたエコマーク

(2) クラブ対抗！生きものみつけグランプリ



身の周りの生きものを見つけてスマホでコレクションできるアプリ「バイオーム」。バイオーム社と三菱電機の協力を得て、見つけた生きものをクラブ単位で表示・集計できる仕組みを作り、見つけた生きものの種類、数を競う「クラブ対抗！生きものみつけグランプリ」を 8 月から 11 月まで実施しました。三菱電機からは、見つけた生きものをより深く知る、学ぶための調査シートもご提供いただきました。見事グランプリに輝いた「魚と子ども Kids クラブ」(三重県亀山市)は、1,240 件も投稿し 564 種類の生きものをコレクションしました。クラブ単位での表示・集計機能は引き続き使うことができますので、自然観察を行っているクラブはぜひご活用ください。



2. 「環境ロドリゲス ecoSMILE」によるオンライン講座



全国フェスティバルの運営支援をしてもらっている早稲田大学の環境サークル「環境ロドリゲス」の中で環境と教育をつなげる活動をしているチーム「ecoSMILE」がつくったオンライン環境プログラム「食べものからいろいろな環境問題を考えよう」を、こどもエコクラブのメンバーに向けて実施していただきました。



「牛肉が食卓に届くまで」をテーマに、バーチャルウォーターやフードマイレージ、食品トレーや世界の貧困の問題などについて、クイズを交えてわかりやすく話してもらった後、グループに分かれて食べものとSDGsの関わりについて話し合いました。最後にグループで話し合った結果を全員で共有することで、新しい発見があったり多様な意見を認め合ったりと、充実したプログラムになりました。

オンラインということで福岡県や広島県など、遠方のクラブも参加。ecoSMILE のみなさんは参加者の名前を呼びかけてくれたり、一人ひとりの意見を丁寧に聞いてくれたりと親しみをもって接しており、子どもたちは年齢の近いお兄さんお姉さんへの憧れの気持ちを強くしたと思います。

3. 地域を越えたクラブの活動支援



麦を育てる活動をしている「まきのはら水辺の楽校」(静岡県牧之原市)から、麦ストローの材料として使える小麦の麦わらを提供する、との申し出をいただきました。マイクロプラスチックが社会問題となり、コンビニやコーヒーチェーン店の使い捨てプラスチックストローに非難の目が向けられる中、自然素材で作れるストローは注目的。ウェブサイトで案内するとともにメールマガジンで告知を行ったところ、多くのクラブから申し込みがありました。



実際にストローを作ったクラブから多くの活動レポートが寄せられただけでなく、この情報を参考にして地元の農家からもらった材料で挑戦したクラブもありました。どのクラブも、作ったストローが問題なく使えたことに驚くとともに、土に還る素材のメリットやプラスチック製品を減らすことの大切さについて考えるきっかけになった、と報告してくれました。

今回のケースは、クラブ自身からオファーがあり各地のクラブがそれに応じて声をあげてくれたこと、全国事務局は両者の橋渡し役に徹したところが従来の取組では見られなかった点でした。クラブ同士、あるいはクラブと全国事務局など、双方向のコミュニケーションを通してクラブの主体的な活動をサポートするスタイルは、こどもエコクラブが目指す理想の姿といえるでしょう。このような事例をさらに増やしていきたいと思います。

事業報告

環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

◎ウェブサイト、SNSを通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2021年度の合計ページビュー:568,075PV

2021年度の合計訪問者数:156,745ユーザー

また Facebook や Twitter を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



Facebook「いいね！」:1,261件
フォロワー:1,323人(2022年3月)



各地域担当別 Twitter
地域に合わせた情報を発信
合計フォロワー数:2,805人

◎外部メディアの活用

環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや、地方紙等へのプレスリリースを行いました。壁新聞の受賞の話題を中心に各紙・メディアに記事が掲載または放映されました(主なものを抜粋)。

【新聞・テレビ】

メディア名	日付	記事・番組タイトル
奄美新聞	2021年4月5日	壁新聞で奄美をPR(阿室小中学校エコクラブ(鹿児島県宇検村))
西日本新聞	2021年4月8日	クラブの取り組み注目 エコ活「壁新聞」が大臣賞(だいやエコクラブ(長崎県佐世保市))
長崎新聞	2021年4月12日	だいやエコクラブが環境大臣賞(だいやエコクラブ(長崎県佐世保市))
長野日報	2021年4月19日	岡谷子どもエコクラブ取り組みが農水省HPに(岡谷子どもエコクラブ(長野県岡谷市))
茨城新聞	2021年5月6日	水戸の千波湖でワカサギ産卵 茨城高・中の生物部が確認(逆川子どもエコクラブ(茨城県水戸市))
綾瀬市タウンニュース	2021年5月11日	神奈川県綾瀬市「あやせエコクラブ」第7期生を募集
びわ湖放送	2021年5月15日	「魚のゆりかご水田」で田植え(～エコアイデアキッズびわ湖～(通称:アイキッズ)(滋賀県草津市))
陸奥新報	2021年6月7日	HEP21が岩木川と土淵川で水質調査(HEP21エコクラブ(青森県弘前市))
NHK	2021年6月19日	野洲市 水田水路で生物観察会(～エコアイデアキッズびわ湖～(通称:アイキッズ)(滋賀県草津市))
日刊工業新聞	2021年7月2日	利用料で社会貢献 寄付付きサービス広がる
東京交通新聞	2021年7月5日	日の丸リムジン 地球環境保全に寄付
市民タイムス	2021年7月27日	オオタカ観察を壁新聞に 大臣賞を県教育長に報告(いきものみつけファーム in 松本推進協議会(長野県松本市))
新日本保険新聞社	2021年9月1日	こくみん共済coop(全労済)、子どもエコクラブとの共創による防災・減災プログラム「おうちでBosai×Eco CAMP」実施
新潟日報	2021年9月1日	国際スピーチコンテスト小学生部門最優秀賞(三ツ星エコクラブ(新潟県魚沼市))
金融経済新聞	2021年9月13日	子どもエコクラブと共創
保険毎日新聞	2021年9月17日	子どもたちの防災意識を向上
保険経済新聞	2021年10月5日	子どもエコクラブに防・減災プログラム提供
読売新聞	2021年10月22日	魚沼の星さん 優秀賞(三ツ星エコクラブ(新潟県魚沼市))
真岡新聞	2022年1月11日	持続可能な社会づくり活動で受賞と市へ突風被害の義援金贈呈(真岡児童館やさしクラブ(栃木県真岡市))
北海道新聞	2022年3月25日	青苗小の壁新聞に文科大臣賞(青小チャレンジキッズ(北海道奥尻町))
静岡新聞	2022年3月30日	エコ活壁新聞入賞報告(富士市立岩松中学校(静岡県富士市))
富士ニュース	2022年3月30日	日除け作りの成果壁新聞に 岩松中が消費者長官賞輝く(富士市立岩松中学校(静岡県富士市))



壁新聞で奄美をPR 阿室小中エコクラブ3・4年生 自然豊かさや 生物多様性など 県代表、動画でも発信

4/25(月) 11:41 投稿 0 0 0 0

奄美新聞社



県代表作品に選ばれた壁新聞を動画で紹介する阿室小中エコクラブより。こどもエコクラブサイト動画より転載。

「全国エコ活コンクール」の壁新聞部門で鹿児島県代表作品に選ばれていた阿室小中学校3・4年生の作品がこのほど、『こどもエコクラブ・全国フェスティバル2021』のウェブサイトで公開が始まった。全児童生徒で集った紹介動画も合わせて発信。エコ・環境活動を通じて、奄美大島の自然の豊かさや生物の多様性を全国に伝えている。

こどもエコクラブは幼児から高校生までが参加するエコ・環境活動で、公益財団法人日本環境協会が主催。全国1680クラブ、約8万6千人が活動に参加し、同校は「阿室小中学校エコクラブ」（当時小学生16人、中学生5人）の名前で登録し、昨年からは活動している。

奄美新聞 (2021.4.5)

ニュース 地域 岡谷こどもエコクラブ取り組みが農水省HPに

岡谷こどもエコクラブ取り組みが農水省HPに

2021/04/20 06:00

長野日報

身近な環境問題について学ぶ岡谷市の「岡谷こどもエコクラブ」が、新型コロナウイルス感染症予防で中止した昨年度講座の内容を動画にしてDVDに収録し受講生に配るなどした取り組みが、農林水産省のホームページで紹介されている。省エネやごみ減量につながる調理の工夫を教える料理講座「環境にやさしいクッキング」を収録した。

市内小学生が地元の自然を教材に観察や調査などの体験学習を行う事業。複数の講座を中止した昨年度は、外出自粛で在宅時間が増える中、家庭で環境について考えてもらおうと料理講座の回を撮影しDVDにした。行政チャンネルで放送したほか、動画投稿サイトで配信している。

動画では野菜くずを煮出してだしを作ることでごみを減らし、食材を袋に入れて洗う方法で洗い物を減らすなど環境に配慮した調理方法も紹介。環境講座は「活動を評価してもらえうれしい。少しの工夫で環境問題に取り組めることを、動画をきっかけに知ってほしい」と話した。

料理講座は市食生活改善推進協議会の活動でもある。同会が県に活動報告を上げ、県が長野県の代表事例に選んだことで「食育月間以外の食育の取組」として同省HPに掲載されることになった。市健康推進課によると、コロナ禍に遇した非対面による推進活動、DVDやテレビ放送での広い認知などの功が評価された。同課は「全国の人に活動を見てもらって、会の皆さんも喜んでいる」とした。

長野日報 (2021.4.19)

2021年(令和3年)6月7日 (月曜日)

水質調査環境に理解

HPV 児童ら2河川で実施

水質調査を実施し環境に理解を深めるこどもエコクラブのメンバー

環境にやさしい社会づくり活動の一環として、こどもエコクラブのメンバーが、6月6日(日)、阿室小中学校の河川で水質調査を実施した。児童らは、水質調査の意義や、水質汚染の原因や対策について学び、環境にやさしい社会づくり活動の一環として取り組んでいる。

陸奥新報 (2021.6.7)

「こどもエコクラブ」と共創

日本環境協会とこども共済COOP

日本環境協会とこども共済COOPは、先のこととして、主にこどもエコクラブ事業に活用する。SDGs目標達成の一環で共通課題を解決する。災害でライフラインが停止したことを想定して新聞紙やボール紙を使って生活に必要なものづくりなど、取り組みや行動や準備を実践的に学習して備えるの重要性を理解する。母体「こども共済COOP」は「社会貢献付エコ住宅専用住まいる共済」の契約状況、毎年の決算実績に応じて環境活動団体への寄付を展開している。

行い、日本環境協会は寄付先のこととして、主にこどもエコクラブ事業に活用する。SDGs目標達成の一環で共通課題を解決する。災害でライフラインが停止したことを想定して新聞紙やボール紙を使って生活に必要なものづくりなど、取り組みや行動や準備を実践的に学習して備えるの重要性を理解する。母体「こども共済COOP」は「社会貢献付エコ住宅専用住まいる共済」の契約状況、毎年の決算実績に応じて環境活動団体への寄付を展開している。

金融経済新聞 (2021.9.13)

持続可能な社会づくり活動への賞と 市へ突風被害の義援金贈呈

真岡児童館やさしくクラブ 真岡市八木町

受賞報告と義援金贈呈で市長室を訪れたやさしくクラブのメンバー

真岡児童館やさしくクラブのメンバーが、市長室を訪れ、市長から賞状が贈呈された。児童館は、持続可能な社会づくり活動への賞と、突風被害の義援金を贈呈した。

真岡新聞 (2022.1.11)

日除け作りの成果壁新聞に 岩松中が消費者長官賞輝く

岩松中在校生や教員が受賞を報告した

岩松中が消費者長官賞を受賞した。日除け作りの成果壁新聞が評価された。

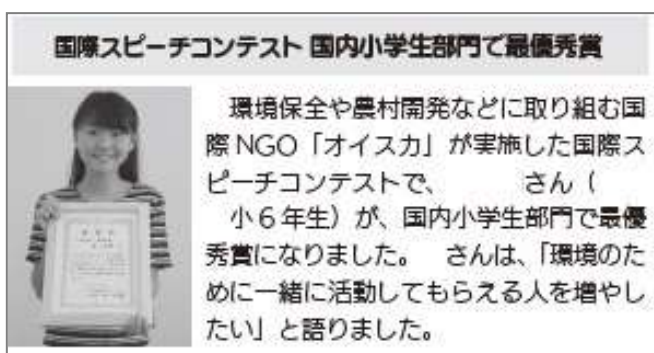
富士ニュース (2020.3.30)

【自治体広報紙・ウェブサイト】

自治体名	発行/ 掲載時期	記事タイトル
長崎県佐世保市	2021年4月	【佐世保市環境部】だいやエコクラブ様の環境大臣賞受賞報告会
三重県	2021年6月	2020年度こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」で【日本環境協会賞】受賞 他
福岡県大野城市	2021年7月	大野小学校の総合学習「われら環境よくし隊」
新潟県魚沼市	2021年9月	オイスカ国際スピーチコンテスト 国内小学生部門最優秀賞
埼玉県宮代町	2021年10月	エコ☆スタ Let's 地産地 show cooking!! オンライン参加者募集



「広報大野城」(2021年7月15日号)



「広報うおめま」(2021年9月号)



「広報みやしろ」(2021年10月号)



【その他】

媒体名	発行時期	記事タイトル
プレスリリース(フォレストパックス)	2021年6月	【新発売】「アイスドリンクシュガー」冷たい飲み物に溶けやすくエコなおさとう
海と日本プロジェクト広報事務局	2021年6月	千波湖環境学習会でごみ拾い活動実施(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
日本WPA	2021年6月	脱炭素チャレンジカップ2021表彰(せいわエコクラブ(大阪府大阪市))
ガジェット通信	2021年6月	脱プラスチック&食品ロス削減!エコなおさとう「アイスドリンクシュガー」
つな環(地球環境パートナーシッププラザ)	2021年9月	地域を愛する活動と脱炭素・生物多様性とのつながり(逆川こどもエコクラブ(茨城県水戸市))
国際協同組合保険連合(ICMIF)	2021年10月	Kokumin Kyosai Co-op launches a new disaster prevention and mitigation educational programme for children
国際協同組合保険連合(ICMIF)アジア・オセアニア地域協会	2021年10月	こくみん共済 Coop(日本)が子ども向けの防災・減災プロジェクトを新たに開始しました
Educo(教育出版)	2022年1月	第19回地球となかよしメッセージ入賞作品発表(三ツ星エコクラブ(新潟県魚沼市))



フォレストパックス
プレスリリース



国際協同組合保険連合(ICMIF)
ウェブサイト



つな環
(地球環境パートナーシッププラザ)

◎イベント等への出展・参加

自治体等が主催する環境イベント(オンライン含む)に参加・出展しました。こどもエコクラブ事業の紹介や楽しく活動するクラブの写真の展示などを行い、参加・登録を呼びかけました。

実施日	イベント名	主催者	内容
2021年 6月26日	ふなばし環境フェア	ふなばし環境フェア実行委員会	新聞紙が大変身★オシャレなバッグを作ろう!
2021年8月7~ 20日	エコチルまつりバーチャル2021	「エコチルまつりバーチャル2021」実行委員会	YES-NO チャートで、あなたにピッタリなSDGsアクションを見つけよう!
2021年8月 18,19日	環境省こども霞が関見学デー	環境省	エコまるからの挑戦状!
2021年12月8 ~10日	エコプロ2021	(一社)サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社	エコマーク・クエスト
2021年 12月11日	ESD 推進ネットワーク全国フォーラム	ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省	SDGs に関連づけたクラブの活動紹介
2022年 1月8~14日	環境広場さっぽろ2021バーチャルツアー	札幌市	エコマーク・クエスト



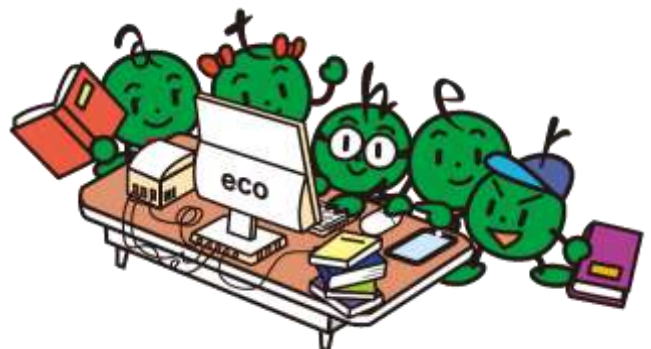
ふなばし環境フェア



エコチルまつりバーチャル2021



環境広場さっぽろ2021
バーチャルツアー



◎広報ツールの貸出

地方自治体等に、広報ツール(前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ等)を貸し出しました(旗等:6ヶ所、エコまる着ぐるみ:1ヶ所、壁新聞3ヶ所)。



エコまる旗



エコまる着ぐるみ

(2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児(3歳)から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人(サポーター)で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

2021年度の登録数は、クラブ数:1,705クラブ、メンバー数:87,272名、サポーター数:17,484名で、これまでの延べ登録メンバー数は約280万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取り組みを行いました。

◎ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードすることができるようにしました。



ポスター



チラシ

◎メンバーズバッジの配布

こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを、新たに登録したクラブメンバーへの特典として配布しました。子どもたちの一体感醸成と活動のモチベーション向上に役立っています。



※クラブの個人情報は弊協会プライバシーポリシーにのっとり、適切に管理しています。
※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.35「登録データ」を参照。

◎ 環境活動・学習の活性化促進

(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、助成金情報や地域別のイベント情報の掲載を行っています。また、「リアルヴォイス」と題して、各地で充実した活動を行っているクラブの紹介や、メンバーたちの先輩であるクラブのOB・OGの方へのインタビューなどを掲載しています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターインフォメーション」を月2回配信しています。



リアルヴォイス

(2) 教材・プログラムの提供

◎手帳、エコカード等の作成・配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を希望するメンバーに実費頒布しました。また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」を希望する未就学児がいるクラブに送りました。エコカードにはSDGsのアイコンを追加し、保護者・保育者のSDGsに関する認知・理解の向上を促しています。

サポーター(大人)向けには、事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」を新規登録クラブに配付しました。



メンバー手帳



エコカード



応援マニュアル



◎全国一斉活動

企業・団体との協働により、全国の子どもエコクラブの仲間が一斉に取り組む活動として先述したように以下のプログラムを提供しました()内は連携・協働相手の企業・団体)。

- ①おうちで Bosai × Eco CAMP(こくみん共済 coop)
- ②エコマーククエストⅡ(メルカリ)
- ③クラブ対抗！生きものみつけグランプリ(三菱電機、バイオーム)

(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック



◎エールメッセージ

クラブから寄せられる活動レポートに対して、応援団(環境カウンセラーや協会の子ども環境相談室・相談員等の環境に知見のある有識者)からのエールメッセージ(活動の発展につながるコメントやアドバイス)を、投稿後2週間以内に送付しています。2021年度は1,031件の投稿がありました。

<掲載例>

○観察会でカヤネズミの巣を発見

キャンパーズのサポーターが参加しているNPO法人で地域の大学生のフィールドワークが開催され、メンバーと参加しました。

参加者のようす

午前中は、林野庁がNPOや環境省と準備した木の名札を、大学生と一緒に取り付ける活動でした。雲仙田代原風致探勝林は日本美しの森に指定されており、周囲には九州自然歩道が整備されています。牧場沿いの木道は九千部岳登山客にも人気があり、NPOは保全活動を行なっています。今回は木道沿いの木々に名札を取り付けました。

午後は隣接の草原で植物観察と生き物探しを大学生と行いました。バッタやクモ、カナヘビ、チョウなどと、フユイチゴやムカゴなど、秋の生き物を見つけました。

感想・気づいたこと・考えたこと

今回はメンバーがススキの草原でカヤネズミの巣を発見しました。中にネズミは居ませんでしたが、上手にススキの穂の下に丸いボール状の巣がからめてあり、初めてみる学生達もカヤネズミの巣作り上手に感心していました。草原の何処かにカヤネズミが居ると思うと、いつか実物を見てみたいと思います。

地域の大学生と一緒にフィールドワークをする機会が持てて、メンバーにも貴重な経験となりました。



○コメント



キャンパーズのみなさん、報告ありがとう。

木の名前、花の名前を知ることは、自然に興味を持つ・慣れる・感じることの、第1歩だと思います。名札付けは地味な活動かもしれませんが、特に今回みなさんが行かれた九州自然歩道は人気がありますので、多くの人の目にふれ、子どもも多く見ることでしょう。とても大切な活動ですね^^ また、午後の活動ではススキの草原でカヤネズミの巣を発見されたそうですね。カヤネズミの巣は、今回みなさんが発見した所のようにイネ科の草地にあります。そういった環境が減少し、カヤネズミの生息域も少なくなっている問題があります。むかしの人々の暮らしに寄り添って生きてきた種なんですね。

巣自体は、水田などから水がなくなる頃につくられますので、みなさんが発見した巣はつい最近まで子育てをしていたのかもしれないですね。

巣は子育てのためですので、カヤネズミ自体の生活は地表が中心となります。いつかカヤネズミの実物もみるために、ぜひ地表(ちひょう)も確認してみてください。つぎのレポートも楽しみに待っています！



◎壁新聞道場

2020年度に提出された、1年間の活動をまとめた壁新聞全113作品に対して、環境に知見のある有識者(環境カウンセラーやこども環境相談室・相談員等)による、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました

<掲載例>



とっておきのゴシドウ★

実は、記事の中であまり色を使いすぎると、ごちゃごちゃ感がでてしまい読みにくくなることがあります。でも今回の新聞はとても読みやすかったです。なぜかというと、色だけでなく、文字の大きさや、文字列のとり方、線の太さにもしっかり工夫をこらしたからだと思います。

書きたいことが多くなると、どうしても文字をつめて書いてしまうこともあります。

今回も少しその様子もみられるのですが、全体的には読みやすさを考えて、文字の余白を取られていますね。とてもいいバランスでまとまっています。

さて、活動の内容についても、とっても工夫を凝らして楽しんでいる様子もよくわかりました。お手伝いである「落ち葉はき」も、大会として楽しく競い合えばスポーツになりますし、その後の肥料の活用も素晴らしいですね。

またそれぞれの活動に対して、みんなの「感想」が書かれていました。

みんなが環境活動を通してどんな気持ちになったのか、とても大切な情報です。読みやすくまとめられていたのでみなさんの気持ちもよく伝わりました。

ただ、活動日時について、タイトル部分で書いてあったり、記事の中で書かれていたり、まとまってはいませんでしたね。一年間でどういった活動をしたかということをしっかり伝えるのでしたら、わかりやすくまとめてみるか、もしくは一年間の表をつけてみるのもよかったですね。

特に季節の変化を考えながら自然体験を伝えると、より楽しい発信ができると思いますよ。

【地域事務局からの応援メッセージ】

竹の子エコクラブは毎年、年間の活動を通して生物多様性や身近な自然環境の保全など様々な取組みを実施していますが、今年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、活動の中止や縮小を余儀なくされました。そういう状況のなかでも、みなさんが自主的に活動計画を立て、様々な活動を楽しみながら取り組んでいる様子は、この壁新聞からとても伝わってきます。みなさんの活動は、町内外の住民へと広く伝わり、後世にわたり町の自然環境が継承されるきっかけとなる取組みであり、とても素晴らしい活動であると改めて感じます。竹の子エコクラブのみなさんの活動を、微力ながら町職員もサポートしていきます。一年間お疲れさまでした。(三芳町)

写真や絵がたくさん使われていたり、記事のタイトルも興味を引くよう工夫されていたり、読んでいてとても面白かったです。活動内容とともに感想も書かれていて、みなさんがその活動を通してどんなことを感じたのかを知ることができました。落ち葉はきなど、その地域ならではの活動を大切にしていることも素晴らしいです。これからも、地域の環境を大切に、楽しみながら活動を続けてください。(埼玉県)



◎活動レポートフォトコンテスト

活動レポートと一緒にクラブから寄せられる写真を活用したフォトコンテスト(協賛:ケニス)を3期に分けて実施・表彰して、活動報告の投稿を促すとともに、受賞作品を広報資料に掲載するなど写真を活用して元気に活動する子どもたちの様子をアピールしました。

○2021年度 年間賞



■こどもエコクラブ賞
せいわエコクラブ(大阪府大阪市)
「磯観察」



■ケニス賞
ニツ池こどもエコクラブ(神奈川県横浜市)
「2022年初定例活動(1月)」

◎新人賞、皆勤賞

毎月1回、その月に初めて活動レポートを投稿してくれたクラブの中から抽選で1クラブに「活動レポート新人賞」を贈呈しました(協賛:バンダイナムコホールディングス)。

また、新たに活動レポート皆勤賞を設け、季節ごとに1回以上(合計4回以上)活動レポートを送ってくれた17のクラブを称えました。

フォトコンテスト及び新人賞、皆勤賞は、より多くのクラブから活動レポートを投稿してもらうことをねらって実施しているものです。今年度の投稿クラブ数は101でした。



(4)企業との協働推進

◎企業からの支援

2021 年度も様々な企業・団体様に、主催するコンクール等の広報活動を中心にこどもエコクラブと連携・協力していただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターやコーディネーター(地方自治体のこどもエコクラブ担当者)に活動の周知を図り、多くの子どもたちに参加していただきました。



キリン
「キリングループ×環境マーク
プログラム」



ジーエス・ユアサ バッテリー
「小学生 ECO 絵画コンクール」



トヨタ自動車
「まなぶパーク」

【アシストプログラム】

パートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介しています。

アシストプログラム一覧(2022年3月現在)

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	滋賀県大津市	環境学習サポーター	大津市内
	キリン	キリングループ×「環境マークプログラム」 コラボプロジェクト	全国
	宝酒造	宝酒造「おうちで田んぼ体験キット」無料配布	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	しげるくんエコ大使	全国
体験・学習プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	エフピコ	使用済みトレーの選別センター・リサイクル工場見学等	センター・工場の近隣地域
	キリン	工場見学ツアー(全6ヶ所)	工場の近隣地域
	三菱電機	キッズのためのエコのわくせい	全国
	トヨタ自動車	まなぶパーク	全国
	イエローピンプロジェクト	おうちで海プロ 2021	全国
タカラトミー	オンライン授業 みんなでつくる SDGs 人生ゲーム	全国	
体験・学習イベント	イエローピンプロジェクト	プログラミングで海の SDGs !	関東

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
各種コンクール	出光興産	環境フォト・コンテスト[わたしのまちの〇と×]	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	小学生 ECO 絵画コンクール	全国
	ブリヂストン	こどもエコ絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの一枚画コンクール	
	3R 推進フォーラム	3R 促進ポスターコンクール	
	ジャパンビバレッジエコロジー	ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール	全国
キャンペーン	JBRC	JBRC リサイクルクイズキャンペーン 2021 !	全国

(5)他団体のイベント・キャンペーン情報の提供

このほか、様々な団体が実施するイベントやキャンペーンの情報をウェブサイトやメールマガジンで発信しました。このような情報提供はクラブに役立つだけでなく、主催する団体にこどもエコクラブのを知ってもらう良い機会にもなっています。

ウェブサイト掲載日	主催組織・団体	プログラム名
2021年5月7日	厚生労働省	児童福祉週間「こいのぼり掲揚動画」
2021年5月17日	日本水環境学会	「水環境文化賞」、「みじん子賞」
2021年6月14日	環境省	気候変動アクション環境大臣表彰
2021年6月18日	気候ネットワーク	未来を守る作文コンクール 2021
2021年7月20日	緑の循環認証会議	【東京 2020 応援】森林認証 SGEC と PEFC マークを探そうキャンペーン
2021年8月6日	グリーン購入ネットワーク	「夏休み自由研究向け特別企画」オンライン工場見学！
2021年8月9日	日本 NPO センター	Green Gift 地球元気プログラム夏の特別オンライン企画「里山の自然と生き物見てみよう！」
2021年8月18日	環境省	Green Blue Education Forum コンクール
2021年8月18日	地球温暖化防止全国ネット	脱炭素チャレンジカップ 2022
2021年9月8日	日本自然保護協会	日本自然保護大賞 2022
2021年10月6日	アルバルク東京	SDGs の取組としてこどもエコクラブを応援！
2021年12月3日	茨城県地球温暖化防止活動推進員グループ econet	カーボンニュートラル econet フォーラム 2021
2022年1月5日	早稲田大学環境ロドリゲス ecoSMILE	食べものからいろいろな環境問題を考えよう
2022年1月17日	環境省	「水はめぐる」を使用したオンライン特別講座
2022年1月24日	環境省	うちエコ診断 WEB サービス
2022年2月9日	森林・緑地保全活動情報センター	里山へGO！
2022年2月9日	国土交通省	身近な水環境の全国一斉調査
2022年2月18日	こども環境学会	学会誌「こども環境学研究」表紙デザイン画コンペ
2022年3月25日	森林・緑地保全活動情報センター	里山へGO！

(6) All Japan Youth Eco-club

環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、子どもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワークとして発足しました。子どもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

◎「ユースが行く！」連載

ユースが自分のクラブの枠を越えて、他のクラブを取材して活動を紹介したり、自身が実行・参加したエコ活動の報告をしたりする記事「ユースが行く！！」を3回、ウェブサイトに掲載しました。



◎オンライン活動発表交流会

3月20日に実施した「子どもエコクラブ全国フェスティバル2022【オンライン】活動発表交流会」では総合司会を務めたほか、グループに分かれての活動発表と、クラブや企業の取り組みのよかった点を指摘し合う「イイね！活動トークリレー」の進行を、ユースメンバー11名が担当しました。

また、昨年度に引き続きバーチャルブースの出展も行い、質問やコメントのやりとりを通して全国の現役メンバーと交流しました。



◎環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ



(1) 地域活動活性化

◎サポーター交流会

クラブのメンバーが意欲を持って活動し、ステップアップしていくためには、日頃から子どもたちを支えてくださっているサポーターへの働きかけが重要です。今年度はサポーター同士の交流・スキルアップの機会として、岩手県が「サポーターズミーティング」を、佐賀県が「エコキッズのためのミーティング」をオンラインで開催してくださいました。

各地のこどもエコクラブで活動する子どもたちの成長を支える柱となるのがクラブのサポーターです。全国事務局ではこれからも、サポーターのみなさんのスキルアップや交流の機会を提供していきます。

◎こどもエコクラブ交流会

前述のとおり、「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2022」開催期間中の3月20日(日)に、都道府県代表クラブが参加するオンライン活動発表交流会を開催しました。当日は代表クラブのほか、事業に支援をいただいている企業、大学など合計30グループが参加し、自分たちの活動や取り組みを発表するとともに、お互いの活動のよかったところを伝え合う「イイね！活動トークリレー」などのプログラムで盛り上がりました。また、前環境事務次官で気象予報士の鎌形浩史さんに「地球温暖化と雨」についてお話いただき、参加した子どもたちは熱心に聞き入っていました。



各地の地域事務局でも、オンラインも有効活用しながら活動発表・交流会などを多数開催していただきました。



大阪府
「大阪 ATC こどもエコクラブ交流会」



滋賀県
「淡海こどもエコクラブ活動交流会」

(2)全国規模での交流と顕彰



◎全国エコ活コンクール

子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を企画しました。今年度からこどもエコクラブ以外にも対象を拡大し、全国の環境活動を行う子どもたちのグループから活動をまとめた壁新聞を、個人に対しては絵日記を募集しました。

子どもたちが作成した壁新聞・絵日記を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、有識者、各省庁担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞の環境大臣賞、文部科学大臣賞、消費者庁長官賞、日本環境協会賞、協賛企業賞、絵日記の優秀賞等を選定しました。

■募集概要

- 募集期間: 2021年10月12日～2022年1月14日
- 対象: 全国のこどもエコクラブ、環境活動を行う子どものグループ
- 仕様: 壁新聞—模造紙大またはA2サイズ、縦横自由
絵日記—A3サイズ、縦
- その他: 複数枚の応募可能

■募集結果

- 壁新聞 応募数: 141枚
- 絵日記 応募数: 197枚

■審査結果

- 受賞壁新聞・絵日記 P.39 参照

◎アースレンジャー認定証の授与

子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証※」を作成し、1年間に5回以上の活動を報告したメンバー(2,082名)に授与しました。

また、3年間継続活動をしているメンバー(279名)には銀バッジを、6年間継続活動をしているメンバー(63名)には、金バッジを授与しました。

※年間5回以上の活動報告を行い、申請があったメンバーに授与。



◆環境大臣賞(壁新聞)



アースレンジャー認定証/金・銀バッジ

◎「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2022ONLINE」の開催

昨年度に続き、今年度の全国フェスティバルも全面オンラインでの開催となりました。開催期間中のウェブサイト訪問者数は 6,489 人、ページビュー数は 19,170 でした。クラブ・企業ブースには合計 477 件の質問やコメントが寄せられ、ウェブサイトを通してクラブ同士、企業とクラブとの交流が深まりました。



<コメントの例>

いらなくなった麦でストローを作る活動はすごいと思いました！！私も使ってみたいです。

〇〇さん、麦ストローは、ストローとして使うだけではなく、飾りとしてもおしゃれだと思いました。「まきのはら水辺の楽校」さんが育てた無農薬の麦わらを分けてくださったんですよ。エコクラブ仲間の繋がりも嬉しかったです。



◎「全国エコ活コンクール」表彰式

2022年3月20日、「全国エコ活コンクール」の表彰式をオンラインで開催しました。壁新聞部門・絵日記部門の受賞者が各地から参加し、お祝いの言葉と表彰状を読み上げてもらった後、活動発表を行いました。イベントの様子は You tube でライブ配信し、遠方の親戚や友だちにも喜んでいただきました。

また、環境副大臣から大臣賞を受賞した広西地球環境クラブと全国のこどもエコクラブに励ましのメッセージをいただき、ウェブサイトに掲載しました。



環境大臣賞 広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)(熊本県益城町)



文部科学大臣賞 青小チャレンジキッズ(北海道奥尻町)

【環境副大臣のメッセージ(抄録)】

こどもエコクラブの皆さん、こんにちは。環境副大臣の大岡敏孝です。
皆さんがコロナに負けず、明るく元気に環境保全活動をしてくれて、嬉しく思います。
この度は、全国エコ活コンクールで「環境大臣賞」を受賞した熊本県益城町の「広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)」の皆さん、おめでとうございます。「広西地球環境クラブ」の皆さんは、地域独自の自然の豊かさに気づいた視点が素晴らしいですね。また、観察を続けるだけでなく、湧き水の成り立ちや湧き水を取り巻く自然、さらには湧き水を利用した仕事や暮らしにも思いを馳せるなど、想像力も素晴らしかったです。これからも地域の自然を大切にしていってほしいと思います。
これからも、皆さんが大人を引っ張っていく気持ちで活動を続けていってほしいと思います。皆さんの一歩が、社会全体の一歩、そして地球の未来の一歩に繋がります。これからの皆さんの活躍に期待しています。

(3)他団体からの表彰

2021年度も、多くのクラブがコンクールで受賞したり、長年の活動を評価されて表彰を受けたりしました。その一部をご紹介します。

都道府県	市区町村	クラブ名	賞名	主催者/コンクール名
青森県	弘前市	HEP21エコクラブ	「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰	環境省
栃木県	真岡市	真岡児童館やさしクラブ	「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰	環境省
栃木県	真岡市	真岡児童館やさしクラブ	地域づくり活動賞	環境生活文化機構・持続可能な社会づくり活動表彰
栃木県	真岡市	真岡児童館やさしクラブ	ニトリ最優秀夢・未来賞	脱炭素チャレンジカップ2022
埼玉県	宮代町	MIYASHIRO エコ☆スターズ	優秀賞	彩の国埼玉環境大賞(県民部門)
埼玉県	宮代町	MIYASHIRO エコ☆スターズ	宮代町表彰	宮代町
千葉県	千葉市	アトリエこうたき	入賞	ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール
千葉県	市川市	市川えこでん	特別賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(小学生部門)
新潟県	魚沼市	三ツ星エコクラブ	最優秀賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(小学生部門)
新潟県	魚沼市	三ツ星エコクラブ	インターナショナル・優秀賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(小学生部門)
新潟県	魚沼市	三ツ星エコクラブ	入選	教育出版・地球となかよしメッセージ
兵庫県	尼崎市	自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ	「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰	環境省
和歌山県	橋本市	あやの台小学校エコマー	地域環境美化功労者表彰	環境省
広島県	江田島市	永田川カエル倶楽部	河川功労者表彰	日本河川協会
広島県	江田島市	永田川カエル倶楽部	地域環境美化功労者表彰	環境省
山口県	周南市	ガールスカウト山口県第3団	優秀賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(小学生部門)
福岡県	北九州市	ぴこぴこニコニコエコクラブ	特別賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(中高生部門)
福岡県	福岡市	福岡工業大学附属城東高等学校 科学部	特別賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(中高生部門)
長崎県	長崎市	こころエコクラブ	特別賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(小学生部門)
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	特別賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(中高生部門)
宮崎県	都城市	姫城中学校 姫ボラ	宮崎県地域環境保全功労者等表彰	宮崎県

都道府県	市区町村	クラブ名	賞名	主催者/コンクール名
鹿児島県	宇検村	阿室小中学校エコクラブ	特別賞	オイスカ・国際スピーチコンテスト(中高生部門)
沖縄県	南城市	エコホヌ	環境大臣賞金賞	脱炭素チャレンジカップ2022



(4) こどもエコクラブ協働プログラム

クラブのサポーターや地方自治体の担当者(コーディネーター)がクラブの活動や地域の環境施策を盛り上げるために実施する活動に対し、全国事務局が伴走支援を行う「こどもエコクラブ協働プログラム」。今年度は埼玉県飯能市の「こどもエコクラブ飯能」から申し込みのあった、様々な体験プログラムを通して SDGs への関心を深め、自分たちにできることを実践する仲間を増やすことを目的としたイベント「SDGs フェスタ」を実施しました。



川魚の放流



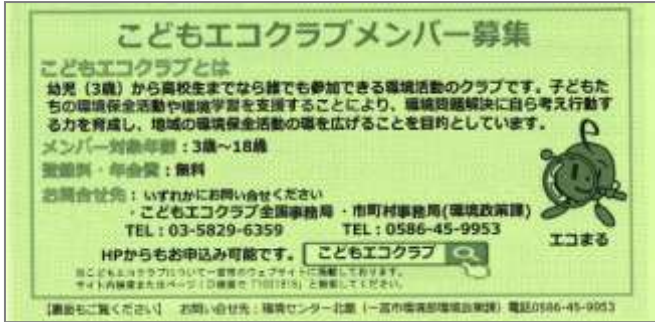
火おこし体験

地域事務局の取組事例

地域事務局においても、さまざまな形で子どもエコクラブを推進しています。

(1) 子どもエコクラブ関連記事(紹介・募集)の掲載

◆広報紙・ウェブサイト等



愛知県一宮市 「一宮市環境かわら版」



広島県広島市 募集チラシ



宮崎県 ウェブサイト



山口県宇部市 ウェブサイト



神奈川県相模原市 のぼり旗

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	—	埼玉県	所沢市	長野県	佐久市	島根県	松江市
北海道	札幌市	埼玉県	深谷市	長野県	千曲市	島根県	浜田市
北海道	函館市	埼玉県	戸田市	岐阜県	岐阜市	島根県	出雲市
北海道	小樽市	埼玉県	朝霞市	岐阜県	可児市	岡山県	—
北海道	室蘭市	埼玉県	久喜市	静岡県	—	岡山県	倉敷市
北海道	釧路市	埼玉県	吉川市	静岡県	浜松市	岡山県	浅口市
北海道	北見市	埼玉県	寄居町	静岡県	沼津市	広島県	—
北海道	網走市	千葉県	—	静岡県	富士市	広島県	広島市
北海道	羽幌町	千葉県	市川市	静岡県	藤枝市	山口県	—
青森県	—	千葉県	船橋市	静岡県	湖西市	山口県	宇部市
青森県	青森市	千葉県	佐倉市	愛知県	—	山口県	山口市
青森県	八戸市	千葉県	習志野市	愛知県	岡崎市	山口県	岩国市
岩手県	—	千葉県	市原市	愛知県	一宮市	愛媛県	松山市
岩手県	盛岡市	千葉県	八千代市	愛知県	半田市	愛媛県	今治市
岩手県	遠野市	千葉県	香取市	愛知県	春日井市	愛媛県	西条市
岩手県	雫石町	東京都	中央区	愛知県	豊田市	高知県	—
宮城県	—	東京都	新宿区	愛知県	江南市	福岡県	—
宮城県	石巻市	東京都	江東区	愛知県	稲沢市	福岡県	北九州市
宮城県	気仙沼市	東京都	中野区	愛知県	日進市	福岡県	大牟田市
宮城県	利府町	東京都	豊島区	愛知県	東浦町	福岡県	筑紫野市
秋田県	—	東京都	北区	三重県	—	福岡県	春日市
秋田県	秋田市	東京都	練馬区	三重県	津市	福岡県	大野城市
秋田県	横手市	東京都	八王子市	三重県	松阪市	福岡県	太宰府市
秋田県	由利本荘市	東京都	武蔵野市	三重県	鳥羽市	福岡県	朝倉市
山形県	—	東京都	調布市	三重県	志摩市	佐賀県	—
福島県	—	東京都	町田市	滋賀県	—	佐賀県	佐賀市
福島県	福島市	東京都	稲城市	滋賀県	大津市	長崎県	—
福島県	会津若松市	神奈川県	横浜市	滋賀県	草津市	長崎県	長崎市
福島県	いわき市	神奈川県	相模原市	京都府	木津川市	長崎県	佐世保市
福島県	喜多方市	神奈川県	横須賀市	大阪府	—	長崎県	大村市
茨城県	—	神奈川県	平塚市	大阪府	大阪市	熊本県	—
茨城県	日立市	神奈川県	藤沢市	大阪府	堺市	熊本県	熊本市
茨城県	北茨城市	神奈川県	茅ヶ崎市	大阪府	吹田市	熊本県	八代市
茨城県	ひたちなか市	神奈川県	綾瀬市	大阪府	高槻市	熊本県	人吉市
栃木県	—	新潟県	—	大阪府	茨木市	大分県	—
栃木県	宇都宮市	新潟県	長岡市	大阪府	寝屋川市	大分県	大分市
栃木県	栃木市	新潟県	柏崎市	大阪府	大東市	大分県	日田市
栃木県	真岡市	富山県	—	大阪府	東大阪市	宮崎県	—
栃木県	那須烏山市	富山県	高岡市	大阪府	交野市	宮崎県	宮崎市
群馬県	—	石川県	金沢市	大阪府	阪南市	宮崎県	都城市
群馬県	前橋市	福井県	—	兵庫県	姫路市	鹿児島県	—
群馬県	高崎市	福井県	永平寺町	兵庫県	尼崎市	鹿児島県	鹿児島市
群馬県	伊勢崎市	山梨県	—	兵庫県	伊丹市	鹿児島県	指宿市
群馬県	太田市	長野県	—	兵庫県	加古川市	鹿児島県	霧島市
埼玉県	—	長野県	長野市	奈良県	奈良市	沖縄県	—
埼玉県	さいたま市	長野県	松本市	和歌山県	—	沖縄県	那覇市
埼玉県	川越市	長野県	岡谷市	鳥取県	—	沖縄県	浦添市
埼玉県	川口市	長野県	茅野市	島根県	—		

(2) 地域クラブのメンバー募集と運営



栃木県宇都宮市 クラブページ



長野県岡谷市 クラブページ

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	北見市	千葉県	市川市	長野県	岡谷市	滋賀県	大津市
宮城県	南三陸町	東京都	中央区	長野県	飯田市	京都府	木津川市
福島県	福島市	東京都	新宿区	静岡県	浜松市	大阪府	大阪市
茨城県	龍ヶ崎市	東京都	荒川区	静岡県	富士市	兵庫県	神戸市
栃木県	宇都宮市	東京都	板橋区	静岡県	藤枝市	兵庫県	たつの市
群馬県	前橋市	東京都	調布市	愛知県	豊田市	鳥取県	米子市
埼玉県	坂戸市	神奈川県	鎌倉市	愛知県	長久手市	沖縄県	南風原町

(3) ニュースレターの発行



とちぎこどもエコクラブ
ニュースレター



三重県こどもエコクラブ通信

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	—	栃木県	—	群馬県	—
千葉県	—	三重県	—		

(4)交流会等 環境イベントの開催



三重県
紙上県内交流会



広島県広島市
自然観察会

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	札幌市	埼玉県	越谷市	滋賀県	—	島根県	—
青森県	—	福井県	鯖江市	滋賀県	草津市	広島県	広島市
岩手県	—	岐阜県	岐阜市	大阪府	—	佐賀県	—
群馬県	—	三重県	—	兵庫県	神戸市	熊本県	—

(5)クラブへの助成金・物品支援・講師派遣等



佐賀県
活動支援助成金・講師派遣



東京都練馬区
「ねりまエコアドバイザー(講師派遣)」

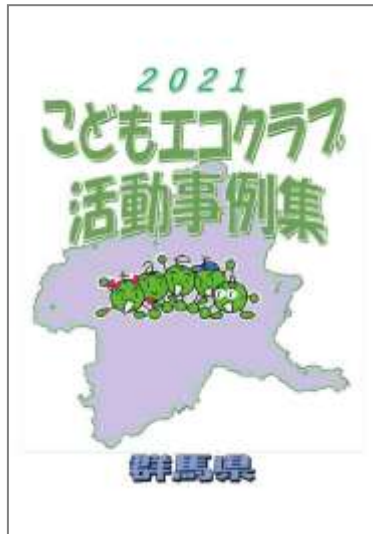
◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	遠野市	千葉県	市川市	兵庫県	神戸市	長崎県	—
宮城県	—	東京都	練馬区	奈良県	—	熊本県	—
秋田県	—	福井県	—	鳥取県	—	大分県	—
茨城県	—	福井県	永平寺町	鳥取県	北栄町	宮崎県	—
栃木県	—	長野県	—	山口県	山口市	鹿児島県	—
栃木県	真岡市	静岡県	藤枝市	高知県	—	沖縄県	—
埼玉県	—	滋賀県	—	福岡県	—		
埼玉県	草加市	京都府	木津川市	佐賀県	—		

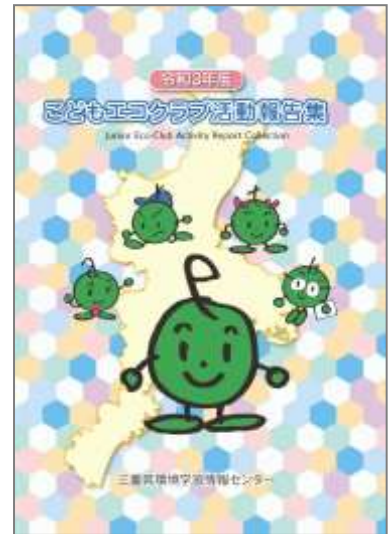
(6) こどもエコクラブ活動報告書等の発行・配布



秋田県



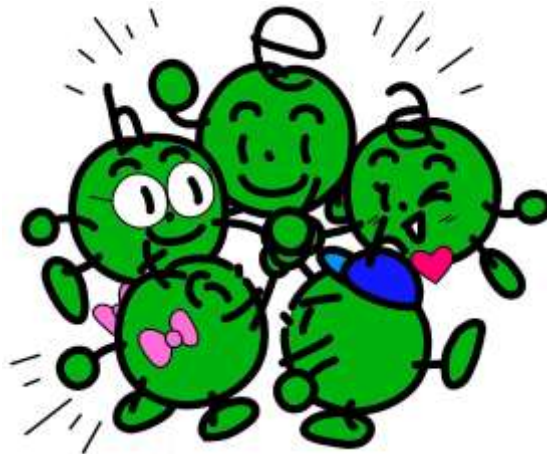
群馬県



三重県

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
秋田県	—	群馬県	—	三重県	—	福岡県	北九州市
茨城県	—	埼玉県	川越市	福岡県	—		



協賛・協力いただいた企業・団体

本事業の実施・運営に関して、様々な企業・団体の皆さまからの支援・連携を募り、「パートナー」「寄附」等により実施・運営を行っております。

■パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）（48社）

アース製薬	朝日テクノ	アマノ	イオン九州
イオン 1%クラブ	出光興産	SG ホールディングス グループ(佐川急便)	塩ビ工業・環境協会
教育出版	共立理化学研究所	キリン	グリーンクロスジャパン
ケニス	ジーエス・ユアサ バッテリー	JTB	JBRC
清水建設	ジャパンビバレッジ グループ	住商フーズ	3R活動推進フォーラム
タカラトミー	宝ホールディングス	鉄建建設	東京国際フォーラム
東京建物	トヨタ自動車	西日本ビル代行	日本印刷産業連合会・ グリーンプリンティング 認定事務局
日本CCS調査	日本 WPA	日本容器包装 リサイクル協会	長谷エコーポレーション
バンダイナムコ ホールディングス	ふくろうのはね	ブリヂストン	文化シャッター
HOYA アイケアカンパニ ー	マツモトキョシ ホールディングス	ミールケア	三井住友海上火災保険
三菱地所設計	三菱地所レジデンス	三菱電機	山田養蜂場
リード	リソー教育グループ	リトルスタジオインク	龍角散

■寄附

【企業・団体】

アポクリート	イオンファンタジー	熊本銀行	こくみん共済 coop (全労済)
さいかつ農業協同組合	嵯峨野	十八親和銀行	積水化学工業
日本 Givers 協会	日の丸リムジン	福岡銀行	福岡中央銀行
フォレストボックス	プロントコーポレーション	ワンステップ	

【個人・その他】

Tポイントジャパン	つながる募金	メルカリ寄付	古本募金 (団体延べ 26、個人延べ 8)
-----------	--------	--------	--------------------------

この他、13 の個人や子どもエコクラブの方々からご寄附をいただきました。

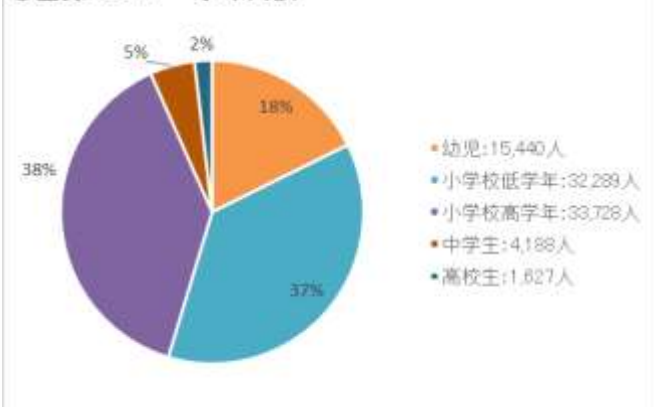
登録データほか

2021年度都道府県別登録データ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	28	788	109
青森県	24	1,257	230
岩手県	27	701	113
宮城県	12	2,011	257
秋田県	37	3,172	461
山形県	2	10	3
福島県	8	161	47
茨城県	35	1,332	262
栃木県	19	1,549	444
群馬県	41	762	153
埼玉県	128	12,633	2,341
千葉県	66	1,745	318
東京都	122	7,374	818
神奈川県	80	592	311
新潟県	28	934	114
富山県	39	988	173
石川県	5	102	47
福井県	11	923	162
山梨県	6	170	22
長野県	16	572	164
岐阜県	40	1,459	121
静岡県	66	2,647	562
愛知県	48	2,401	392
三重県	58	8,512	3,615

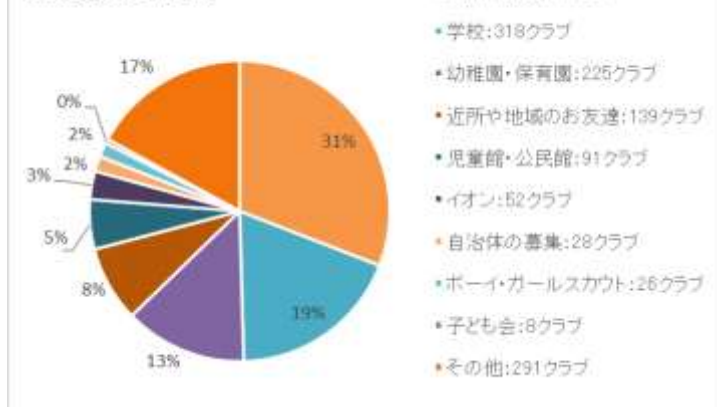
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	58	4,828	347
京都府	15	235	52
大阪府	48	3,835	264
兵庫県	75	1,624	411
奈良県	5	118	52
和歌山県	6	160	31
鳥取県	37	3,748	1,175
島根県	13	406	138
岡山県	35	2,266	444
広島県	45	753	122
山口県	12	236	54
徳島県	4	554	55
香川県	5	57	34
愛媛県	6	67	14
高知県	14	86	41
福岡県	168	5,866	1,266
佐賀県	91	4,064	900
長崎県	19	862	115
熊本県	21	993	152
大分県	28	1,462	221
宮崎県	20	895	134
鹿児島県	19	1,068	128
沖縄県	15	294	95
合計	1,705	87,272	17,484

登録メンバー 学年内訳



合計: 87,272 人

登録クラブ形態



合計: 1,705 クラブ

■2021年度 地域事務局登録一覧（47都道府県 488市区町村）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	三笠市	伊達市	石狩市	羽幌町		
青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						
宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町	
秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市	
山形県	酒田市	新庄市					
福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					
茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					
栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	
群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市
	渋川市	藤岡市	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町
	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町	大泉町		
埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
	戸田市	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市
	富士見市	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市
	三芳町	小川町	吉見町	寄居町	宮代町		
千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					
東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	調布市
	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市		
神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市	寒川町		
新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	新発田市	十日町市	糸魚川市
	妙高市	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村
富山県	高岡市	魚津市	砺波市				
石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町			

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	伊那市
	茅野市	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町		

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町	垂井町				

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	江南市	稲沢市
	日進市	東浦町	南知多町				

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	多賀町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	吹田市	泉大津市	高槻市	守口市
	枚方市	茨木市	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市
	箕面市	高石市	東大阪市	交野市	阪南市	熊取町	

兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市
	宝塚市	篠山市	たつの市				

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町
-----	-----	-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
	平生町						

徳島県	徳島市	阿南市
-----	-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	今治市	西条市
-----	-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	行橋市
	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	福津市
	嘉麻市	朝倉市	みやま市	宇美町	志免町	桂川町	香春町
	苅田町						

佐賀県	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市
	小城市	吉野ヶ里町	みやき町	玄海町	有田町	江北町	太良町

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	玉名市	山鹿市
	宇土市	上天草市	天草市	南小国町	益城町	山都町	芦北町
	あさぎり町						

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

● 全国エコ活コンクール 受賞作品

■ 壁新聞部門

環境大臣賞



タイトル:「やっぱすごか! 熊本のわき水」
 広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)
 (熊本県益城町)

文部科学大臣賞



タイトル:「奥尻の食 地産地消」
 青小チャレンジキッズ(北海道奥尻町)

消費者庁長官賞



タイトル:「私たちにもできる 地球を救うアップサイクル」
 富士市立岩松中学校(静岡県富士市)

こくみん共済 coop 賞



タイトル:「地球を守る10の方法」
 香美市こどもエコクラブ 自ぜんとふれあいたい
 (高知県香美市)

タカラトミー賞



タイトル:「ケロケロカエル調査新聞15」
上津探検隊(島根県出雲市)

日本環境協会賞



タイトル:「未来へのバトン つなぐのは私たち」
真岡児童館やさしくラブ(栃木県真岡市)

幼児部門「ミールケア・エコまる賞」



タイトル:「みどりとたいようグリーン・キッズ」
緑と太陽の保育園グリーン・キッズ(青森県十和田市)

■絵日記部門 優秀賞



タイトル:「水のはじまり」
せいわエコクラブ
玉森 史香さん(大阪府大阪市)



タイトル:「足元で生きる命」
玉一アクアリウム
世木 友希花さん(兵庫県神戸市)



タイトル:「三光鳥をさがしたよ」
ぶらぶらあぶらクラブ
高原 慧悟さん(福岡県福岡市)



タイトル:「ついにやったぞ！！世界自然遺産の島」
阿室小中学校エコクラブ
宮原 航太さん(鹿児島県宇検村)

地球のワクワク！ 発見しよう

こどもエコクラブ

私が主役！ なかまと一緒に未来をつくる

こどもエコクラブは、子どもたちが地域で行う継続的な環境活動・学習のクラブです。仲間と一緒に、身近な場所で活動を積み重ねながら、自主的に人と環境とのかかわりを学びます。

■子どもたちの「ワクワク！」を応援します

子どもたちが、自然への興味関心をきっかけに、自然を守ることが地球にとって大切なだけでなく、人間の生活にとっても大切であることを知る環境活動・学習を支援します。身の回りの自然からさまざまな発見をし、他の生物同様、生態系の一部である人間の生活に応用することができる。そんな能力を身につけながら育ちます。

■子どもたちの「生きる力」を育みます

子どもたちが、エコ活動の意味を本質的に理解できる機会をつくと共に、なかまと一緒に活動することを支援します。身の回りの出来事や定見から、現在の社会とのギャップを自ら見つけ出すことで、未来の理想的な社会と将来の自分を重ね合わせ、社会的な課題を解決できる大人になる。そんな大きな目標を心に宿して育ちます。

■子どもたちの「地域を愛する心」を培います

子どもたちの、身近な地域の身近な自然を大切に思う、思いやりの心を育むことを支援します。身の回りの自然からの発見を重ねることで、感受性豊かな子どもたちは、自分のまちのすばらしさを感じ、探求し、愛し、主体的に守ろうとする。そんなまちの博士へと育ちます。



公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5

TMMビル 5階

TEL 03-5829-6359 E-mail j-ecoclub@jeas.or.jp